

国際高

学校の特色 知って

中3 対象 オンラインで授業体験

奈良市二名町の県立国際高校（中尾電路校長）で23日、中学3年生を対象にし



グループ討議で世界の課題について中学生と国際高校1年生を交わす国際高校1年生＝23日、奈良市二名町の県立国際高校

社会で活躍する人材の育成を目指し、今年4月に開校した。当初は200人規模の授業体験会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、オンラインに切り替えて実施した。

があつた。学校の特色を知ってもらおうと同校が企画。県内の中学生約60人が参加した。同校は国際

授業はテレビ会議システムを使い、同校1年生有志15人が「グローバル探求」の授業で学んだ東南アジア・ボルネオ島の森林伐採と私たちの生活のかかわりについて発表。続いて5班に分かれてグループ討議を行い、発表を聞いた感想や関心のある世界の課題について意見を交わした。また外国語担当教員による5言語のミニ授業もあつた。

オンライン授業体験に参加した同校1年、大掘大介さん（15）は「中学生はよく考えていて、いい刺激になった」と感想。同じく境井聖馬さん（15）は「中学生と世界の問題について話せて楽しかった。他の高校ではできない貴重な体験ができた」と話していた。

奈良新聞

令和2年8月24日